

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
6 友好都市交流事業（友好都市児童生徒交流事業）

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	5	国際交流の推進
施策	1	国際交流の推進
取組方針	1	諸外国との交流の推進

事業種別	継続		
事業期間	～		
事業実施の根拠法令	無		
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	国際交流課	磯部 典宏	435-1010
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		総務管理費	
	目		国際交流費	
	大事業		国際交流事業	
中事業	友好都市交流事業（友好都市児童生徒交流事業）			

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）		全体事業概要			
	友好都市[済南市（中国）]との国際親善、国際協力、国際理解を目的とした児童生徒の交流事業		児童生徒訪問団の交流事業の実施			
事業内容		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
		日本、中国それぞれの国内情勢を鑑み、済南市政府と協議の上、相互派遣を見合わせた。	日本、中国それぞれの国内情勢を鑑み、済南市政府と協議の上、相互派遣を見合わせた。	日本、中国それぞれの国内情勢を鑑み、済南市政府と協議の上、相互派遣を見合わせた。	当該年度において、児童生徒の交流事業は行わない	済南市友好都市児童生徒交流訪日団来和、済南市友好都市児童生徒交流訪問団派遣

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	3,424	0	3,469	0	3,319	0	0		3,319	
伸び率（%）	-	-	1.3%	-	▲4.3%	-	▲100.0%	-	-	-
人件費										
正規職員	1,519	314	314	338	414	428	599		0	
正規職員以外	402	63	63	64	64	66	82		0	
小計	1,921	376	376	402	478	494	681		0	
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0		0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0		0	
市債	0	0	0	0	0	0	0		0	
その他	3,424	0	3,469	0	3,319	0	0		3,319	
一般財源（税等）	0	0	0	0	0	0	0		0	
所要人数（人）										
正規職員	0.20	0.04	0.04	0.04	0.05	0.05	0.08		0	
正規職員以外	0.19	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04		0	
主な予算内訳										

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 児童生徒訪問派遣回数	回	目標値	1	1	1	0	1
		実績値	0	0	0		
		達成度（%）	0.0%	0.0%	0.0%		
成果指標 児童生徒訪問派遣人数	人	目標値	6	6	6	0	6
		実績値	0	0	0		
		達成度（%）	0.0%	0.0%	0.0%		

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない		制約はあるが可能性はある	○	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>当該事業は、友好都市の済南市へ中学生を派遣し、中学校訪問やホームステイを通じて、異文化体験・国際理解を推進するものであるが、現在、国家間の関係悪化等により、相互派遣を見合わせているが、本市の将来を担う児童生徒が国際感覚を身に付ける上で必要な事業であるところから、現状維持で実施していきたい。</p>
見直し・改善内容	<p>今後、派遣人数の規模等、現在の事業のあり方を検討したい。</p>